

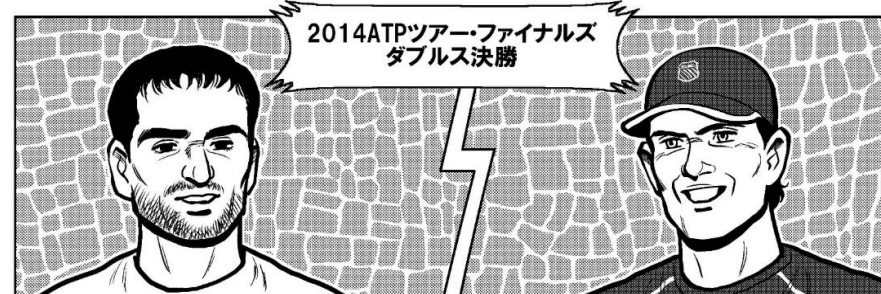
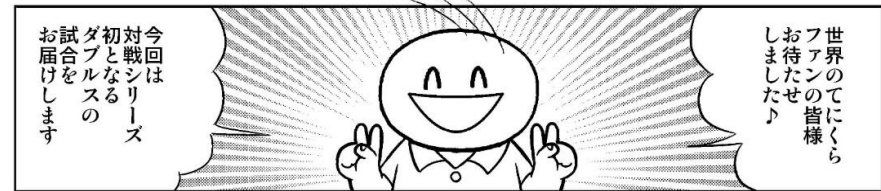
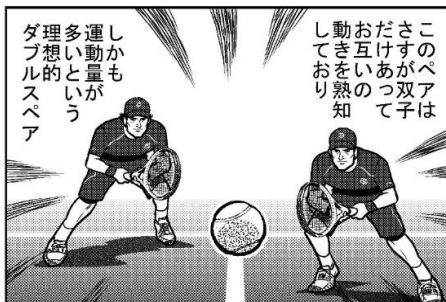
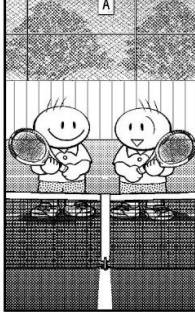
《ミニブレーク162》

# 双子ペアの威力

監修/辻野隆三(MIRAI TENNIS ACADEMY) 作画/石川正順



実は双子のダブルスペア存在して過去にも



**イワン・ドディグ**  
 1985年1月2日生まれの30歳  
 身長183cm/体重83kg  
 ボスニア・ヘルツェゴビナ・メジュゴリエ出身  
 対戦時のランキング16位

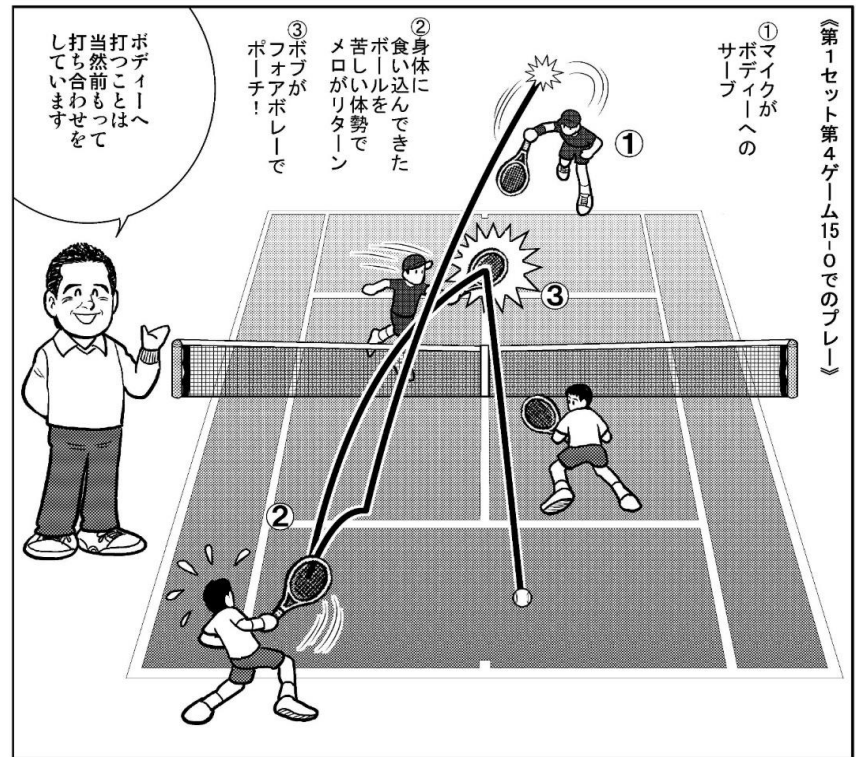
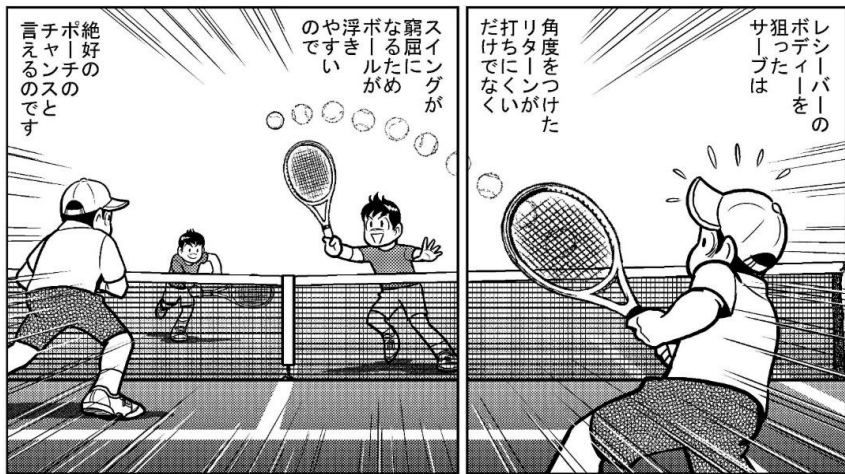
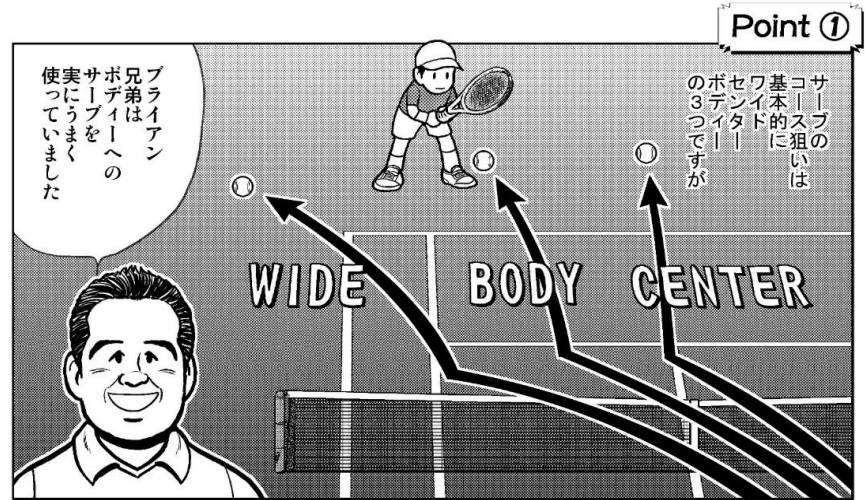
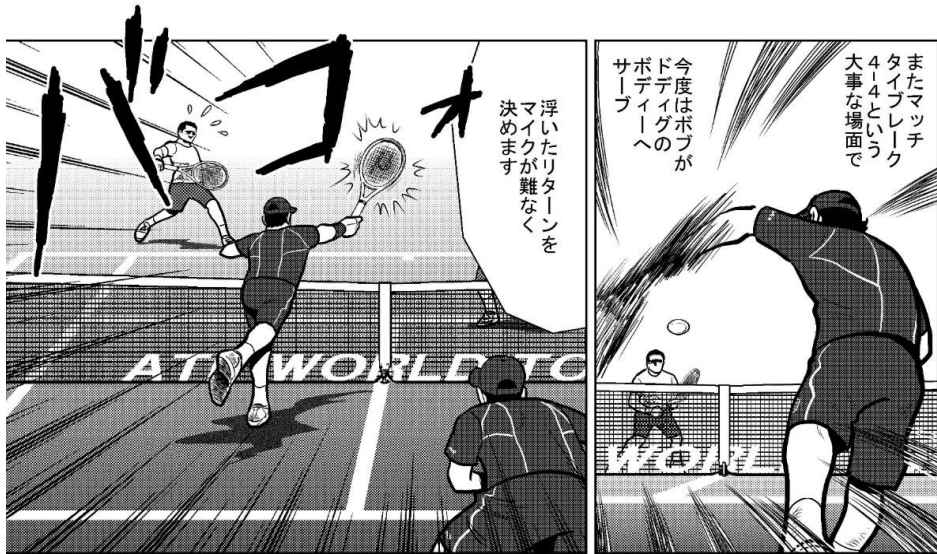
**ボブ・ブライアン**  
 1978年4月29日生まれの37歳  
 身長193cm/体重88kg  
 アメリカ・カリフォルニア出身  
 対戦時のダブルス・ランキング1位

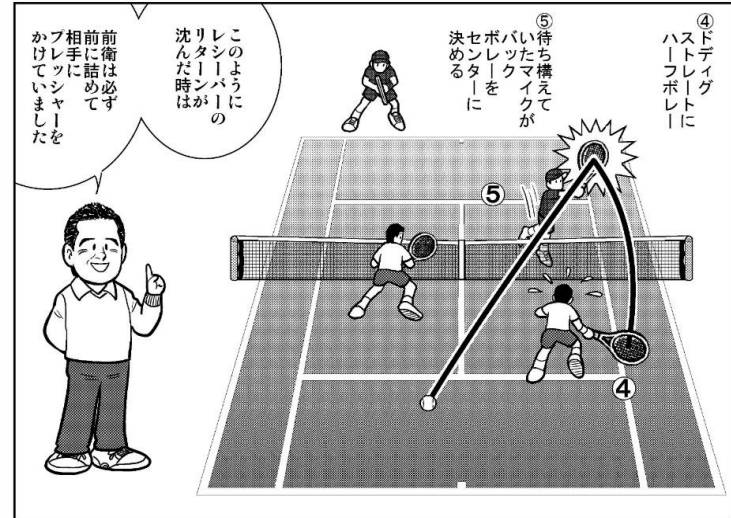
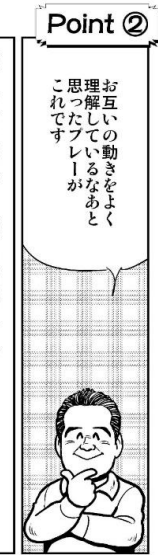
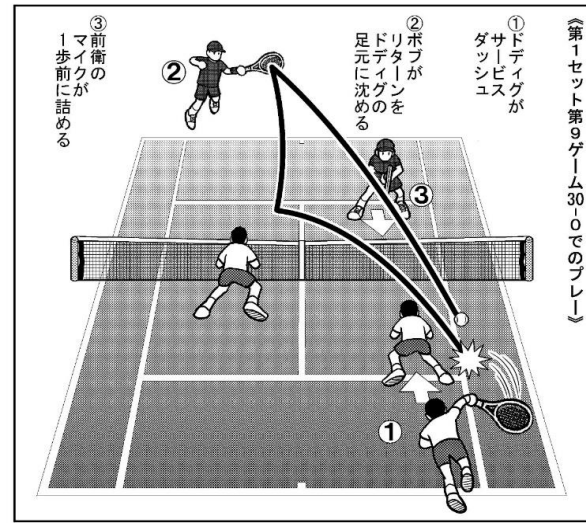
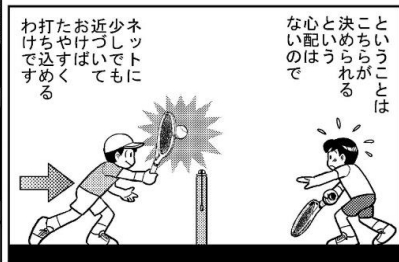
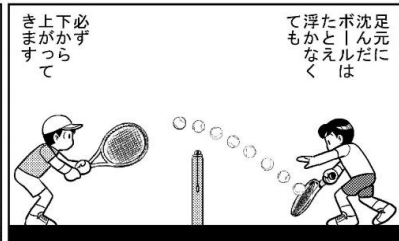
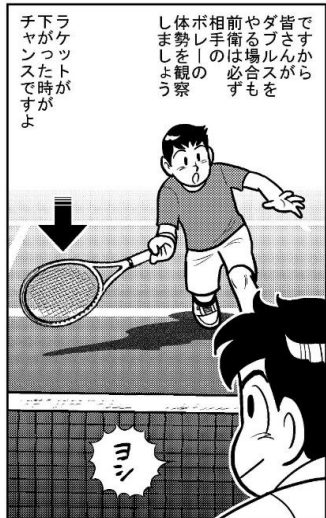
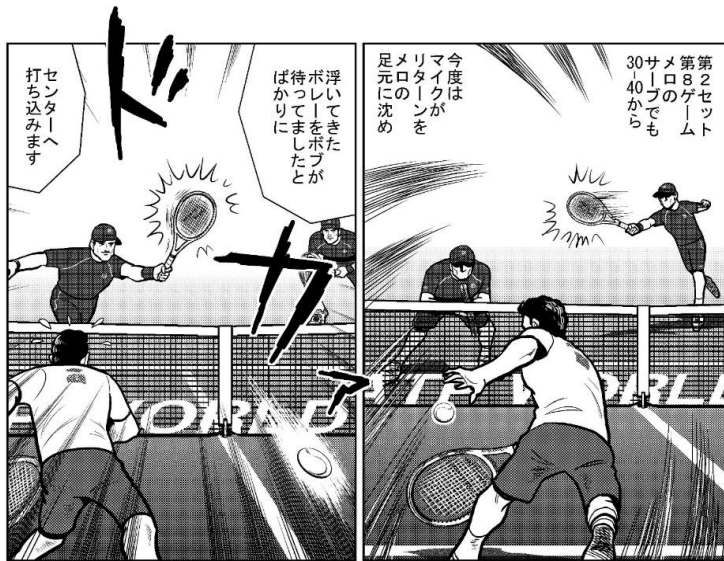


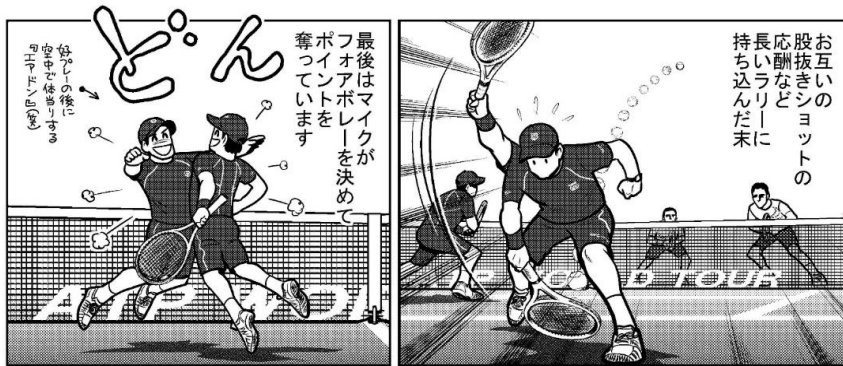
**マルセロ・メロ**  
 1983年9月23日生まれの31歳  
 身長203cm/体重87kg  
 ブラジル・ペロオリゾンテ出身  
 対戦時のランキング10位



**マイク・ブライアン**  
 1978年4月29日生まれの37歳  
 身長190cm/体重84kg  
 アメリカ・カリフォルニア出身  
 対戦時のダブルス・ランキング1位







お互いの  
股抜きショットの  
応酬など  
長いラリーに  
持ち込んだ末

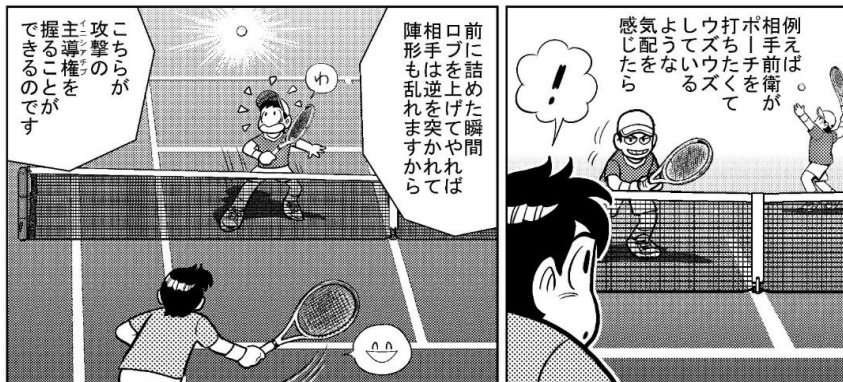
最後はマイクが  
フォアボレーを決め  
ポイントを取っています



このように  
相手の  
ポジションや  
意図を把握  
したうえで  
ロブを使うと

**OFFENCE ← DEFENCE**

ロブは  
「我慢の  
ショット」  
ではなく  
「攻めの  
ショット」に  
早変わりします



例えば。  
相手前衛が  
打ちたくて  
ウズウズと  
している  
ような  
気配を  
感じたら

前に詰めた瞬間  
ロブを上げてやれば  
相手は逆を突かれて  
陣形も乱れますから

こちらが  
攻撃の  
主導権を  
握ることが  
できるのです



【今日のポイント】

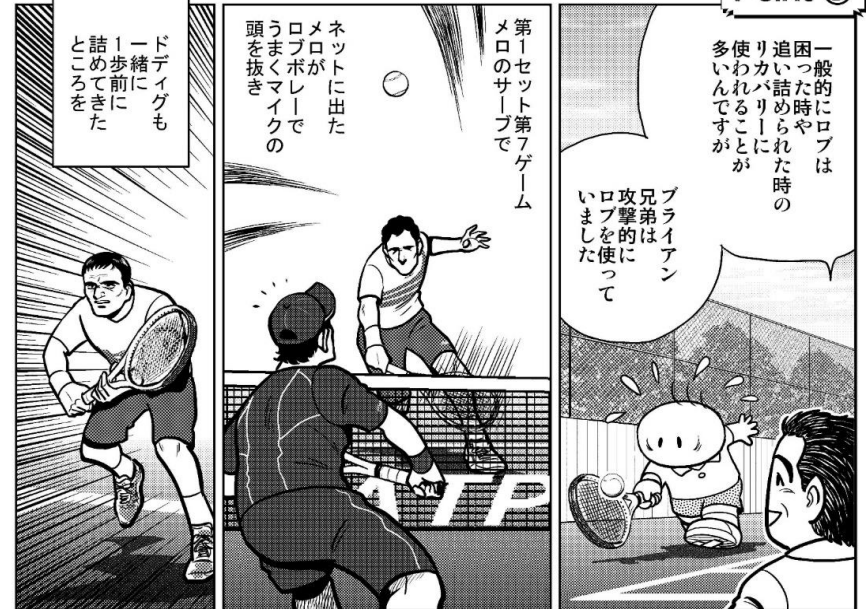
- ① ボディーへのサーブで即ポイント
- ② リターンを沈めたる論争は詰める
- ③ ロブで積極的に攻撃しよう

スコアは  
6(5)ー7  
6(2)ー7  
10(7)で  
ブライアン  
ペアが勝利  
しました

書き忘れた  
タナ

もうしわけ  
ごめいませ

Point ③

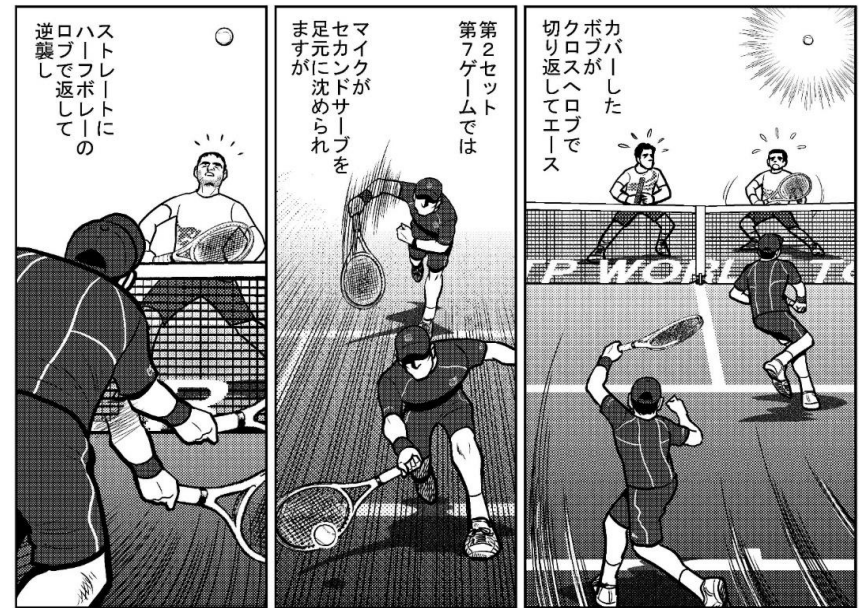


一般的にロブは  
困った時や  
追いつめられた時の  
リカバーに  
使われることが  
多いんですが  
ブライアン  
兄弟は  
攻撃的に  
使っていました

第1セット第7ゲーム  
メロのサーブで

ネットに出た  
メロが  
ロブボレーで  
うまくマイクの  
頭を抜き

ドディグも  
一緒に  
一歩前に  
詰めてきた  
ところを



カバーした  
ボブが  
クロスヘア  
で  
切り返して  
エース

第2セット  
第7ゲームでは

マイクが  
セカンドサーブを  
足元に沈められ  
ますが

ハストレットに  
ロブで返して  
逆襲し